

今年1年のまちのあゆみ

平成16年も残すところあと1月足らず。今年は皆さんにとってどんな1年だったでしょうか。「市町村合併」の議論が本格化する中、落合カーリングチームの活躍や楯前町長に名誉町民の称号が贈られたほか、幾寅小学校が開校100周年を迎えるなど歴史に残る新たな一歩も踏み出されました。今年1年のまちの出来事を振り返ってみましょう。



1月15日～18日
ジュニアカーリングチーム
「Knights」全国大会優勝
落合の男子ジュニアカーリングチーム「Knights」(監督/目黒義重さん、選手/村上幸宏さん・山口剛史さん・加藤佑太くん・獅畑和樹くん)が、長野県で開催されたJOCジュニア選手権大会で、2年振り2度目の日本一に輝きました。
同チームは、2010年開催のバンクーバーオリンピック(カナダ)に照準を置く日本カーリング協会の強化チームの指定を受け、現在はジュニア日本代表「チーム村上」に名称を改め、3月にイタリアで開催される世界ジュニア選手権大会出場を目指して、1月24日から行われるパシフィックジュニア選手権大会に挑みます。

1月31日
市町村合併に関する説明会
南富良野町・占冠村任意合併協議会が、道の担当職員を講師に招き住民説明会を開催しました。
講演では、「なぜ合併議論が必要なのか」「地方制度調査会の最終答申とは」などが説明され、参加者からは「合併しなかった場合はどうなるのか」といった質問が出されました。

また、3月8日から17日までの5日間には、町が主催する「市町村合併に関する地域懇談会」が各地区で開催され、財政推計や行財政改革、占冠村との法定協議会設置についての説明が行われました。
3月14日
福士卓哉くんスキーで全国優勝
南富良野スキー少年団に所属する福士卓哉くん(幾寅)が、新潟県で開催された第5回ゴールドウインジュニアナスタレーズ大会で初優勝しました。



3月27日
楯大亮さん名誉町民顕彰式
昭和47年4月から平成12年4月までの7期28年間の永きにわたり、南富良野町長を勤められた楯大亮さん(幾寅)に名誉町民の称号を贈る顕彰式が総合福祉センターで行われました。
楯さんは、昭和20年10月に南富良野村に奉職以来、教育長や民生課長を歴任し、町長就任後は、町財政の健全化をはじめ、巡回窓口車「やまびこ号」の運行、テレビ中継局の開局、国体力ヌー競技の誘致、振興公社の設立など、今日の南富良野町の基盤を築かれ、多大な功績を残されました。
式典では、池部町長から名誉町民章と彰記などが贈呈され、参列した多くの町民から祝福の拍手が送られました。



4月25日
南富良野町長選挙で池部町長再選
任期満了に伴う町長選挙が行われ、無投票で池部町長が2期目の当選を果たしました。

5月10日
法定合併協議会設立

4月30日開催の町議会臨時会で占冠村との法定合併協議会設立が承認され、この日、総合福祉センターで原淳二占冠村長(当時)と池部町長が合併協議会設立に関する協議書に署名し、法定合併協議会が設立されました。

5月31日には第1回協議会が開催され、新まち建設計画の策定や合併の方式、合併の期日、新まちの名称、事務所の位置など、合併した場合に関する協議がはじめられました。



5月26日
北海道横断自動車道
「狩勝第1トンネル工事」本格着工
道央と道東を結ぶ北海道横断自動車道で未開通となっている十勝清水ICから夕張ICまでの区間で、本町落合の串内牧場敷地内で着工した狩勝第1トンネル工事の安全祈願祭が行われ、町や地元住民、工事関係者が工事の無事を祈りました。

7月30日
町立金山歯科診療所が閉鎖
昭和60年に開設し、幾寅歯科診療所の医師が出張診療を行ってきた金山歯科診療所が、受診者の減少により運営が困難になったことから閉鎖されました。

9月3日
北海道日本ハムファイターズ球団に「まほらの森林親善大使」を任命
今年から北海道に本拠地を移した北海道日本ハムファイターズ球団に、水源かん養林整備など森づくりを進める我が町を全国にPRしていただくこと、池部町長が札幌ドームを訪れ、今村球団社長に認定書を手渡しました。

9月8日
「台風18号」強風で猛威振るう
今年、観測史上最大の年間10個もの台風が日本に上陸しました。このうち、9月8日に北海道の西沿岸を北上した台風18号は、各地で過去最大の瞬間風速を記録し、町内でも建物の倒壊や農作物被害、倒木で道々が一時的に不通になるなど各所に影響を及ぼしました。



10月16・17日
北海道日本ハムファイターズ「植樹祭」「野球教室」
プロ野球選手を目指す子ども達の夢を育み、バットの原木となるアオダモの植樹を通じて、森林資源への理解を深めてもらうこと、北海道日本ハムファイターズ球団の岩本投手と奈良原内野手を招き、昨年に続き2回目となる「植樹祭」と「野球教室」が行われました。



11月21日
幾寅小学校開校百周年記念式典
幾寅小学校が明治37年7月の開校から百周年を迎え、在校生をはじめ同窓生や父母、教育関係者など約350名が出席し、長い歴史を振り返りながら、母校と郷土の更なる発展を盛大に祝いました。

